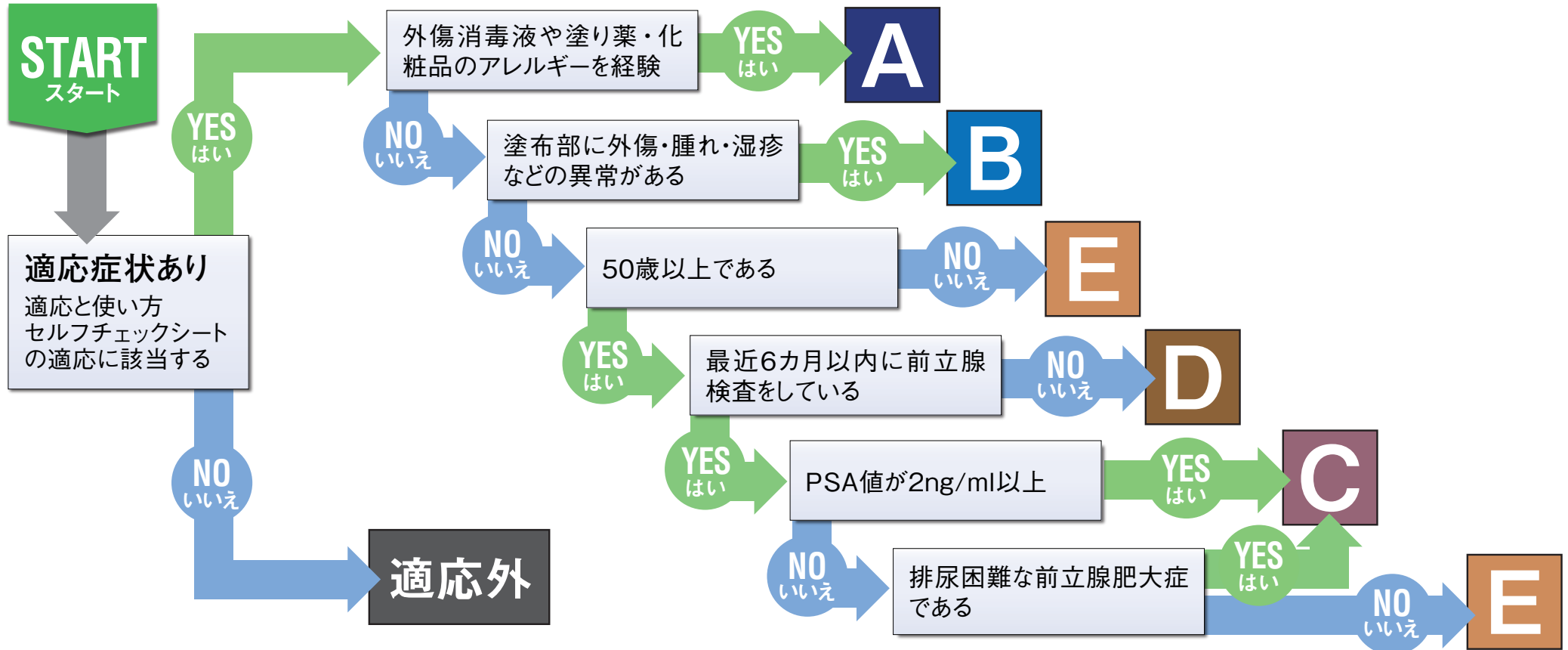


男性ホルモン塗布剤の適応禁忌と事前確認セルフチェックシート

男性更年期からのホルモン補充に

タイプ	禁忌確認結果と使用上の注意
A	NG 配合成分による接触皮膚炎の恐れがあるので、自己判断で使用せずに、皮膚科を受診して医師にご相談ください。
B	保留 患部を悪化させる恐れがあるので、塗布部の異常が完治するまで本剤を使用しないでください。
C	NG 原則的にご使用をおすすめできません。自己判断で使用せず、とくに性機能外来のある泌尿器科を受診して、専門医にご相談ください。
D	保留 PSAの測定など前立腺検診を受けて、前立腺の異常がないことをご確認ください。PSAが2ng/ml以上の場合は泌尿器科にご相談ください。
E	OK 本剤を使用できます。改めてご使用前に添付文書をよくお読みください。とくに、初めて使用する前には、内股に本剤を塗布して丸一日の間に腫れや発赤等が生じないことをご確認ください。また、50歳以上の方が本剤を続けてご使用になる際は、6カ月ごとを目安に泌尿器科を受診して前立腺の検診を受けてください。



購入時のご確認事項

■ 下記項目に該当する場合は、ご使用になれません

- 塗る所又は局所に、薬疹、発赤、かゆみ、かぶれ、はれなどの現れる人。
- 塗る所又は局所に、外傷、炎症、湿疹、ただれ、化膿などのある人。
- 排尿困難を伴う前立腺肥大のある人。
- 前立腺腫瘍(悪性)のある人。
- 前立腺検査の結果、前立腺特異抗原(PSA)の値が2.0ng/mL以上の人(最終的な判断は主治医に従うこと)。
- 小児(医師の判断に従うこと)。
- 妊婦または妊娠している可能性のある女性。
- 睡眠時無呼吸症候群である人。

■ 下記項目に該当する場合は、薬剤師または医師にご相談ください

- 現在医師の治療を受けている人。
- 前立腺肥大ではあるが、排尿困難は伴わない人。
- 薬や化粧品によりアレルギー症状(発疹、発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、水泡など)を起こしたことがある人。
- 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- 心臓病、腎臓病、肝臓病、高血圧またはその既往症のある人。

【効能・効果】

男性ホルモン分泌不足による性器の神経衰弱の諸症即ち勃起力減退、早漏、陰萎、性欲欠乏、性感減退、遺精、睾丸欠落症、先天性睾丸發育不全。脳下垂体性腺ホルモンが無効の潜伏睾丸、女性恥部無毛症、乳汁の分泌抑制。